

このコース地図は2023年6月調査に基づいて作成しています。風水害、天変地異等によりコース変更が生じることがありますので、事前にお問い合わせください。  
当コースのお問い合わせ=近鉄 大阪ハイキング係 ☎(06)6775-3566

●てくてくまつぶはイラストマップですので、お出掛けの際は詳しい地図を各自でご用意ください。

**石仏の道** 現在は国道308号線となった暗峠越えの道は、すぐれた石仏が点在することで有名。暗峠を越して間もない4057m地点の阿弥陀磨崖仏、4742m地点の阿弥陀石仏は文永7(1270)年の銘がありこのあたりで最古。本郷が石仏のその名も石仏寺。また応願寺の地藏は宋の名工・伊一派の作といわれる。

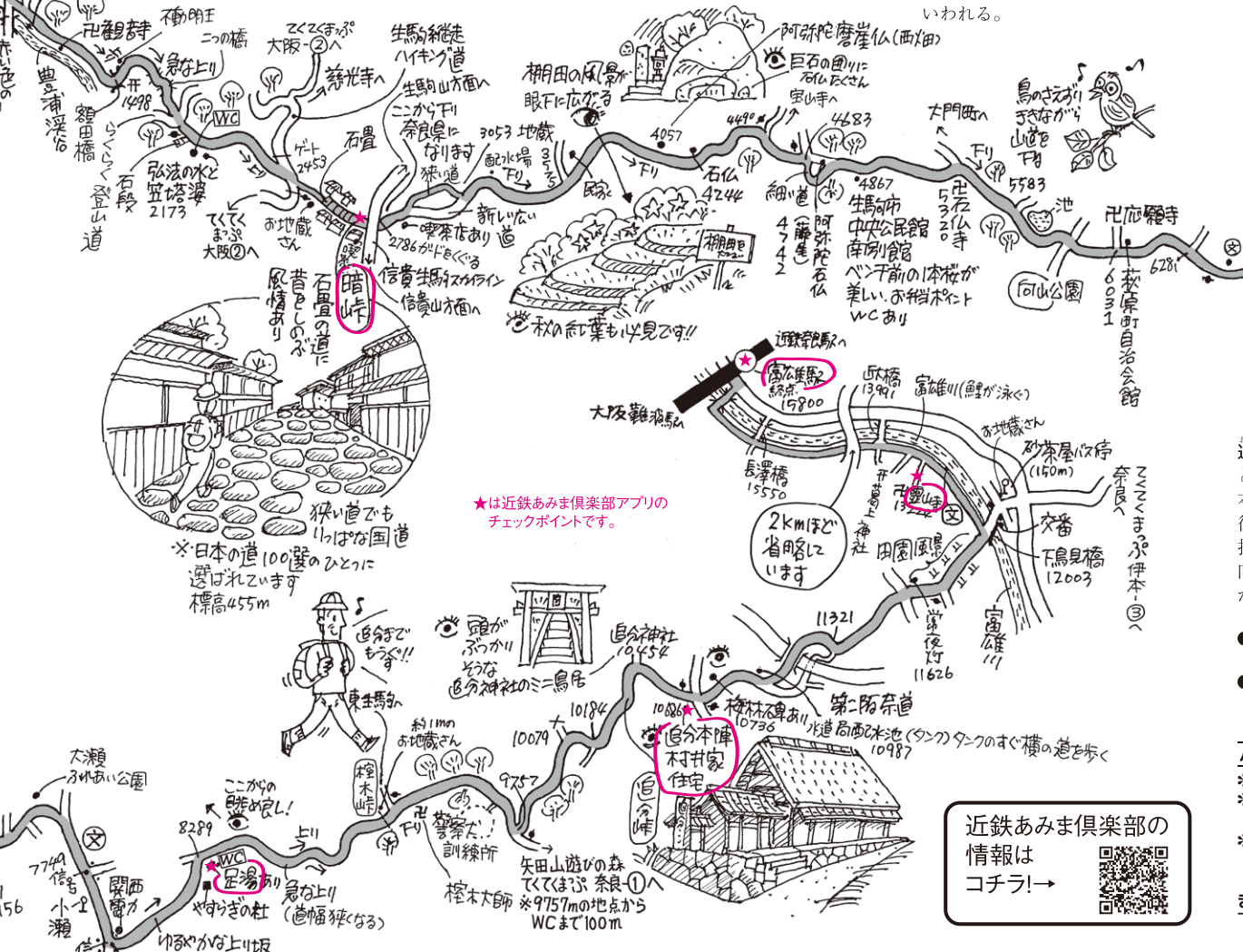
**枚岡神社** 河内国一宮。奈良市の春日大社へ二神がここから分祀されたことから“元春日”ともいう。1月11日の粥占神事、20基前後の布団太鼓が練る10月14・15日の秋祭りが有名。枚岡梅林が隣りに広がっている。

**暗峠** 生駒山系越えの峠は、主なもの北から清滝越え・暗峠・鳴川峠・十三峠などがある。暗峠はこのうち最も人々に利用され、今もハイカーに人気。大阪府と奈良県の分岐にあたるがとりわけ大阪側は石畳が敷かれて古道の面影をとどめる。



**コースのあらまし** 峠を三つ越す、起伏に富んだコース。枚岡神社の森を右に、急坂を登る。これが国道かと思うような谷あいの細い道の両側は木々に覆われ森林浴を楽しめる。暗峠を越すと奈良側の下りは幾分緩やか。南生駒駅を越して福祉施設・やすらぎの杜で振り返ると生駒山系の展望が御機嫌。8289m地点の足湯に浸りながら一休み。道はまた細くなり、檜木大師から追分本陣までは風情のある道。追分梅林を左手に、第二阪奈道路の高架橋を通り、砂茶屋からは富雄川右岸を富雄駅まで歩く。

**伊勢への道** この伊勢本街道は今の大阪市内から、生駒山暗峠→奈良→桜井→榛原→室生を経て伊勢へ向かう全長160km余。このほか伊勢本街道から榛原で分岐してほぼ近鉄大阪線に沿う伊勢表街道(初瀬街道)、吉野川沿いに大淀→吉野→高見峠を越えて最後は伊勢本街道に合流する伊勢南街道などがあつた。江戸時代の旅人は最初の難所・生駒山に挑む。現代人と違ってさほど苦ではなかったかも。



- 大阪難波駅から枚岡駅まで約25分
- 京都駅から枚岡駅まで約1時間5分(大和西大寺駅のりかえ)
- 近鉄名古屋駅から枚岡駅まで約2時間50分(大和西大寺駅まで特急利用、大和西大寺駅のりかえ)
- バス 砂茶屋から富雄駅まで約10分
- バス時刻のお問い合わせ 奈良交通お客様サービスセンター ☎(0742)20-3100

●約16キロ〔枚岡駅～生駒山暗峠～追分～富雄駅〕

伊勢参宮 本街道2 暗峠・檜木峠越えコース

近鉄あみま倶楽部の情報はコチラ!→

**追分** このあたりまで来ると奈良市街と大和青垣の山々を一望できる。追分本陣と称される村井家住宅は江戸時代後期の宿場建築で、奈良市の文化財に指定されている。また第二阪奈道路へ向かう道の左手斜面には追分梅林が広がる。

- コース内の神社仏閣、施設等によっては、有料の個所があります。
- 地図内の数字は、起点からの実測距離(メートル)を表わしています。

**ハイキングのエチケット**  
\*ゴミはまとめて持ち帰りましょう。  
\*山火事防止のためタバコに注意しましょう。  
\*大切な自然です。植物の採集はつしみましょう。  
**きれいな思い出 きれいな自然**  
ゴミやアキ缶は、持ちかえりましょう

企画・発行=近畿日本鉄道(株)  
制作・印刷=(株)アド近鉄  
イラストマップ=鈴木章人  
※無断転写禁ず。

